

政策重要度と市民生活実感のマトリックス

市民生活実感調査において以下の方法により調査した、「政策重要度」と「市民生活実感」の関係を図示しています。

- **政策重要度**

27の政策分野について、それぞれ重要度を5段階で選び、選択肢のうち、「重要である」または「どちらかというところ重要である」を選択した人の有効回答者数に占める割合（％）

- **市民生活実感**

市民生活実感調査の結果を点数化し、政策ごとに平均化した数値

【点数化の方法】

各回答について、「そう思う」に2点、「どちらかというところ思う」に1点、「どちらとも言えない」に0点、「どちらかというところ思わない」に-1点、「そう思わない」に-2点を乗じ、それらの合計を有効回答数で除する。

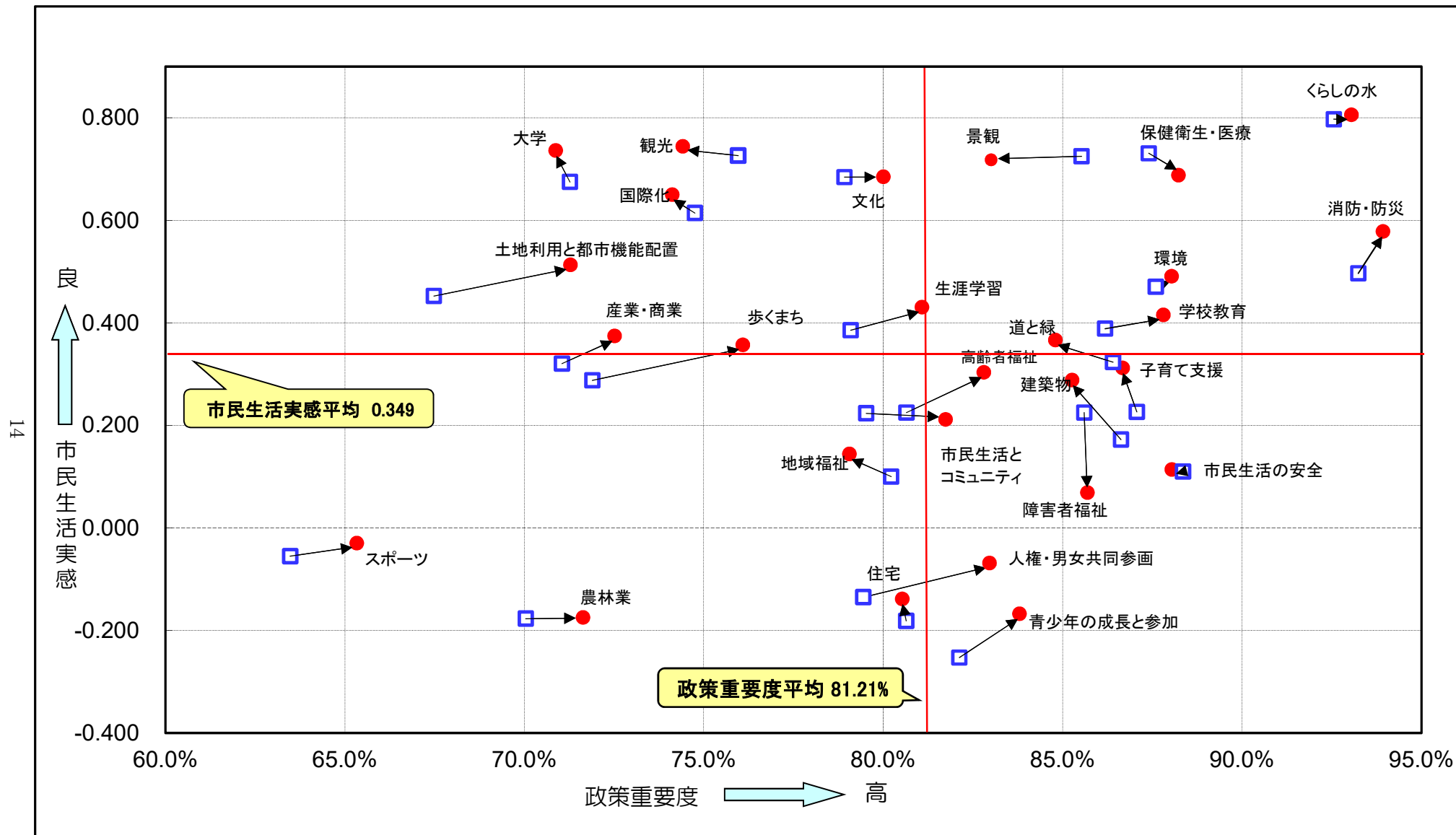
(例)

そう思う	どちらかというところ思う	どちらとも言えない	どちらかというところ思わない	そう思わない	無回答	総回答数	有効回答数
37	93	81	28	20	23	282	259

$$\frac{37 \times 2 + 93 \times 1 + 81 \times 0 + 28 \times (-1) + 20 \times (-2)}{259}$$

$$= 0.382$$

政策重要度: 回答数 ÷ 有効回答者数 生活実感: 政策ごとの生活実感の平均値



□ : 28年度
● : 29年度